

## 令和3年救命救急センター充実段階評価の除外項目の追加について（案）

令和4年4月12日

### 1. 経緯

- ・ 令和3年救命救急センターについては、「第2回救急・災害医療提供体制等に関するワーキンググループ」（令和4年2月9日）において、新型コロナウイルスの影響があると考えられる8項目を除外して評価し、その上で令和元年より評価区分が下がったセンターに対しては個別にヒアリングを行い、新型コロナウイルス患者をどの程度受け入れているかを含めて聴取し、評価する方針とされた。
- ・ しかし、当初除外項目に含まれなかった項目7.2の「地域貢献度」についても今般の新型コロナウイルスの影響を受けており除外すべきとの指摘があった。

### 2. 対応

- ・ 項目7.2「地域貢献度」とは、地域内の重篤患者を診察している割合であって、所管地域人口当たりの当該施設に搬送された重篤患者数を全国総人口当たりの全国重篤患者数で除すことで算定する。
- ・ このように「地域貢献度」の算定にあたっては、令和3年の評価の際に除外する8項目の1つである項目7.1「年間に受け入れた重篤患者数」を算定の基礎としていることから、「地域貢献度」も新型コロナウイルスの影響が結果に影響を及ぼしていた可能性が高く、除外すべきと考える。
- ・ 他の項目に重篤患者数を算定の基礎としているものはなく、令和3年救命救急センター充実段階評価において除外する項目は、

「7.1年間に受け入れた重篤患者数（来院時）」

「7.2地域貢献度」

「25救命救急センターを設置する病院の年間受入救急車搬送人員」

「28脳死判定及び臓器・組織提供のための整備等」

「32地域の関係機関との連携」

「37.1救急救命士の挿管実習および薬剤投与実習の受入状況」

「37.2救急救命士の病院実習受入状況」

「40医療従事者への教育」

「41災害に関する教育」

の全9項目とする。